

第31回 高齢期作業療法を考える会



高齢者に対する臨床研究の紹介 脳卒中患者に対する人間作業モデルに基づく介入 — 根拠に基づく作業療法（OT）への挑戦 —

講師：篠原和也先生 常葉大学

内容紹介

篠原先生は急性期、回復期、維持（生活）期といった身体障害領域と高齢期領域の現場で13年間勤務。その中で数多くの限界・課題を解決すべく、首都大学東京大学院に在籍し、主として脳血管障害の方々を対象とした作業療法の効果に関する研究に着手されてきました。

研究はクライアント中心の作業を提供できる「人間作業モデル」の効果について検討するものです。今回は、篠原先生の臨床経験の一部の紹介と、それに基づく大学院在籍時に行ってきた臨床研究についてお話を伺います。

開催日：平成29年6月14日（水） 19:00～20:30

参加費：300円（資料費）・学生無料

本作業療法士協会生涯教育制度において1ポイント

対象：高齢期の作業療法に関心がある作業療法士・作業療法学生

（領域、病院、施設などは限定しておりません）

申し込み：高齢期作業療法を考える会ホームページ

<http://koureikiot.wix.com/koureiki-ot> にPCまたは右のQRコードからアクセスし、参加申し込みフォームに必要事項を入力の上送信して下さい。

会場：聖隷クリストファー大学 3号館3203教室

お車でお越しの際は第一駐車場をお願いします。

（黄色のボタンを押すことでゲートが開閉します）

連絡先：問い合わせ：事務局 E-mail: koureiki.ot@gmail.com



ホームページ
QRコード